

平成28年熊本地震による木造建築物等の被害(1)



国立研究開発法人 建築研究所 構造研究グループ 主任研究員 荒木 康弘

調査概要

(平成28年4月17-18日)

倒壊した木造住宅が多いとの情報があった熊本県益城町、西原村、南阿蘇村において調査を行った。

平成28年4月17日

益城町調査

平成28年4月18日

西原村調査

南阿蘇村調査

4/16 M7.3 (最大震度 7)

4/14 M6.5 (最大震度 7)



調査地域

益城町の被害状況

- ・ 築20~40年と推測される木造住宅の倒壊を多数確認した。今回の地震が大きかったことを裏付けている。
- ・ 築年数が数年程度で、構造配慮がなされている木造の住宅は概ね軽微な被害か無傷であった。



主な調査地域



平成28年熊本地震による木造建築物等の被害(2)



国立研究開発法人 建築研究所 構造研究グループ 主任研究員 荒木 康弘

西原村の被害状況

- ・緩やかな傾斜地、盛土+擁壁の上に建つ建物が多い。
- ・築年数が古い木造住宅の倒壊と、盛土+擁壁の崩壊により大破した木造住宅が多い。
- ・築年数が数年程度で、構造に配慮がなされている木造住宅は、概ね敷地被害はあっても軽微な損傷程度。

主な調査地域



大破した木造公民館



盛土が崩壊した損傷は少ない住宅



倒壊した倉庫



玄関部分が破壊した木造住宅



倒壊した木造住宅



大切畑地区の危険区域標識

南阿蘇村の被害状況

- ・黒川地区の建物の被害が多い。
- ・黒川地区には学生用のアパートが多数あり木造2階建が多い。そのうち倒壊を6棟確認、大破は多数。

主な調査地域



倒壊したアパート



アパートの筋かい端部
(蟻害による著しい断面欠損)



倒壊した木造住宅



アパートの筋かい接合部



アパートの基礎の亀裂部



上の住宅の柱頭部